



## 仙台空港運用時間延長

佐藤 一郎

**問** 東北経済の活性化と地域の持続的な発展を支えていくため、交流人口の拡大が必要である。東北の空の玄関である仙台空港は極めて重要な公共インフラの拠点空港として、将来的に24時間を目指すべきと県から説明を受けた。運用時間延長について見解を伺う。

**市長** 本格的な人口減少を迎える中で地域の経済が持続的に発展していくためには、仙台空港は東北のハブ空港として大きな役割を果たすと思っています。東北、宮城のため、岩沼市が発展すべきだと思います。空港機能の拡大は騒音、道路の渋滞などさまざまなデメリットが考えられますので、影響を少なくし、ともに発展していきたいと考えます。

**問** 多くの市民のご意見をいただき、また、いろいろなデータを収集しなければいけないとあるが、どのような時期に報告し、説明会をするのか伺う。

**総務部長** 今後の検討の中で市が空港とともに栄えていくため、どのような方々と協議をしなければ

ならないのか、誰にでも説明するというのではなく、必要な方々に説明しなければならないと思います。時間をいただきたいと思っています。

### 覚書の未達成どう考える

**問** 仙台空港周辺の活性化については、臨空都市整備の実現や、仙台空港アクセス鉄道の延伸、県道の整備、内水排除、基盤整備などを仙台空港周辺環境整備交付金などで行ってきた。仙台空港周辺活性化事業の今まで覚書等で約束した未達成の部分はどのように考えているのか伺う。

**市長** 総合評価をした場合、8割とか、おおむね達成できていると思います。しかし、まだ全てが完成しているわけではありませんので、さらに県に要望したいと思っています。新たな要望も出るのかと思いますが、空港の拡張に伴う部分として、できるだけこれまでご協力をいただいた方々と協議を進めたいと思います。



## 教育環境整備

渡辺ふさ子

**問** 小中学校の熱中症対策について、来年夏までのエアコン設置は何教室分を考えているか。

**教育長** 小中学校8校の全ての教室に同時につけたいと思います。

**問** 教室に直射日光が入らないよう緑のカーテンの推進、すだれの設置、遮光性の高いカーテンに変更などを考えてはどうか。

**教育長** 緑のカーテン、すだれの設置は学校の判断、自主性に任せたいと思います。

**教育次長** 遮光性の高いカーテンへの変更はエアコンの効率を高められる可能性がある提案なので、検討したいと思っています。

**問** 就学援助の入学準備金の前倒し支給について、平成30年度中学校入学生徒への支給人数を伺う。

**学校教育課長** 53名です。

**問** 前倒し支給により何か問題点はあったか伺う。

**学校教育課長** 問題点はありませんでした。

### 小学生にも前倒し支給を

**問** 小学校入学児童にも、31年度

から入学準備金の前倒し支給を行うべきではないか。

**教育長** 31年度からの実施に向けて具体的に検討しています。

**問** 給食費は集金袋で毎月、担任の先生が集めている。学校の働き方改革の教員の事務負担軽減策として、学校給食の実施主体である自治体が財政面でも責任を負う公会計化にすべきではないか。

**教育長** 給食費の公会計化は考えていません。

**問** 給食費の補助を実施すべきでないか伺う。

**学校教育課長** 岩沼産の米を使用した米粉パンに1個25円、米粉麺には1キロ当たり600円補助しています。

**問** 義務教育は無償とする憲法の理念や、給食は食育との観点から給食費を無償化してはどうか。

**教育長** 憲法での無償とは授業料を徴収しないことと最高裁の判例で確定しており、国の法律もありません。無償化は考えていません。

◎その他の一般質問  
・仙台空港の運用時間延長